

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。」

(詩篇 46 : 10)



第1回チア・ジョイ・ランニング開催 — めざせ、箱根駅伝&天国への駅伝！
(真鍋未央コーチ(元資生堂・読売新聞連載「挑め、フルマラソン！」)筆者)と走る)

ハレルヤ！ 新緑の季節ですね。ロサンゼルスは、連日30度超えの夏です。新たな希望に向かい、神様にある軽やかなフットワークで歩いていければと祈っています。先月の企画、お祈りありがとうございました。「チア・ジョイランニング with 真鍋未央さん(元資生堂ランニング部、読売新聞「フルマラソンを走ろう！」著者)」「参加者82名」と「桑谷美穂さん祝チア・10周年サプライズ(のはずだった)パーティー」(参加者124名)、どちらも祝福され、最高に楽しく、励まされる時となりました。「夢のように楽しく、何か、天国にいるような気持ちでした！ 励まされました」といった声をたくさんの皆さんからいただきました。お祈りとご参加、ありがとうございます。

コンベンションも近づき、基調講演者らも特集した『チア・マガジン40号』も完成しましたのでお届けします。年商1000億円余りの起業を行った増山瑞比古・律子夫妻の「ヨブの忍耐・パート2」、家族から不条理に放逐され、精神的・経済的な困難の中で示されるキリストの声…いよいよ核心に迫ります。また、三浦光世さんが、病で10年あまりの激痛が続く中、「安らかに眠れ、働けるようになったら、死んでもいいです」との祈りが答えられ、そして、綾子さんと出会い、「いやされたら、自分の命を差し上げてもいいです」との祈りにつながっていく苦難。その苦難が、綾子さんの作品を生み出す礎石としても用いられていきます。どちらも苦難がテーマです。私たちの歩みにも苦難は伴います。でも苦難は、神様にあれば、苦難に終わりません。同上の2作品に加え、苦難の向こう側にある恵みに光を当てた、たくさんの原稿に恵まれ、霊的にもとても励まされています。ぜひ、お読みください(^_^)。

チア・コンベンション、今年も、神様からの励ましや知恵と祝福に満ちた大会となればと準備が進められています。十分な準備ができるように、お祈りください。この機会を、ぜひ生かし、ご参加、また、祝福のお祈りをよろしくお祈りします。

皆さんの上に、神様からの祝福がますますあることを心から祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

この春も、各地でチャーチ&ホームスクーリングへと出発された人々に恵まれ、とても感謝しています。先月、国立大学の医学部をめざす、受験生のA君と、志望大学の面接試験を前に、「面接試験対策」をやり取りしました。A君は、「ホームスクーリングって、しっかりプレゼンすれば、面接でプラスになることがよくわかった！面接はばっちりだったと思う！」と報告してくれ、神様を讃えました。少しずつ、収穫の 때가近づいている、そんな思いが与えられました。

学校・教育委員会と接して、改めて、家族・教育の真髄を見つめられたご家族も多く、今号ではEさんの事例を、ドキュメントでお伝えしようと思います。長編なので、今号はいつもと順番を変え、先に、聖書から直接、教えられていることを分かち合いますね。

神様の存在がわからなくなるほどの 苦難の最中の4つのポイント

神様がそばにいてくれるのか、離れていったのかわからないような苦悩・困難な状況というのは、私たちの歩みによくあると思います。苦難の最中になすべき、4つのポイントを伝道者のAさんから聞き、なるほどと思いました。Aさんの結論としては、神様にあって、恐れなくて進もう、ということでした。

アクション1：神様に率直に、不満を伝える

え！と思います。聖書は、「すべてに感謝しなさい」とありますので。一緒に聞いていたBさんを見ると、「人生体験が豊富で、エッジを効かせ、逆説的に真髄を話すAさん」らしいなー、今回、何を言い出すかなーと、一歩、引きつつ、でも、興味深そうに聞いています。

「不満は多くの場合、人格をずたずたにし、状況をぶち壊します。聖書でもすべてに感謝しなさいとある」。ここでは、みんな、ふんふんと、うなずきます。「でも、神様に向けた、人を生かす不満もある」。ここでAさんは、神様との親密さに基づく、率直な不満にふれます。聖書は、神の友として、カッコつけない、正直で切実、真剣な『本音の付き合い』をしていく姿も伝えています。



5キロ走 優勝の堀井勇士君（チャ・サポートスクール）

「たとえば、詩篇44篇です。『あなたは私たちを、隣人のそしりとし、回りの者のあざけりとし、笑いぐさとされます。あなたは私たちを国々の中で物笑いの種とし、民の中で笑い者とされるのです。……起きてください。主よ。なぜ眠っておられるのですか。目をさましてください。いつまでも拒まないでください。なぜ御顔をお隠しになるのですか』（詩篇44：13、14、23、24）

もちろん、神様は、眠っていたわけではありません。神様にとっては、たまったものじゃない言葉です。でも、聖書の筆者は、自分の気持ちをぶつけます。どんな時でも、止めることのない、祈りの姿勢として」

多くの神学書等で、上記の詩篇44篇は、「民族の嘆き」の箇所等と解説されています。でも、「民族の嘆き」と言われると、なにか、民族の行く末を憂う、高尚な嘆きの祈り、、、みたいな、カッコいい感じがします。実際に聖書そのものを見ると、「なんで寝てるんですか！」とすごい不平不満をぶつけています。聖書の著者は、神を恐れる思いを持ち、何か、神に反逆したら、命をもとられかねない、そのような現実を知り尽くした方です。

でも、同時に、神の愛とあわれみを知り、また、深く正直に求める時の神様への親しみ、信頼感、安心感、深い絆を持っていたのでしょ。必死の、まっすぐな不満をぶつけます。「目をさましてください。いつまでも拒まないでください。なぜ御顔をお隠しになるのですか」…と。自分や人を破壊する不満ではなく、神様に届ける、建設的な不満、正直な思いです。

神様を遠く感じる時になすべき2番目のポイントは、主により頼み続けること。神様との絆があればこそ、信頼関係があればこそ、ストレートに本音で不満も言えるわけですね。必要なベースは神様への信頼です。「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。主は、あなたの義を光のように、あなたのさばきを真昼のように輝かされる」(詩篇37:5、6)

3番目は、主の前に黙ること、静まることです。「やめよ。わたしこそ神であることを知れ」(詩篇46:10)

4番目は、主が良くしてくれたことを、覚えておく。Aさんは、夫婦関係を相談されると、「どこが好きで結婚したんだ?」「結婚して良かったことはどんなこと?」と2人に考えてもらうところから始めるそうです。神様が自分たちにしてくれたことを忘れない。これが4番目のポイント。「人が一日中『おまえの神はどこにいるのか』と私に言う間。私はあの事などを思い起こし、私の前で心を注ぎ出しています。……わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私の前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを」(詩篇42:3~5)

Eさんから最初の連絡があったのは、今年の1月です。以下のドキュメントは、今後、チャーチ&ホームスクーリングを考える皆さんにはもちろん、既に、長年、取り組まれている皆さんにも、再確認と励まし、また、誰かに伝える時の参考になるのではと思います。Eさんの了解を得て、若干、加筆しつつ、ドキュメントタッチで伝えますね。

揺さぶりが許された時に

■能登麻里スタッフから稲葉と桑谷美穂事務局長へのメール

昨日、A県のEさんの奥さんから電話がありました。EさんはHSを始めたいという意向でしたが、奥さんが踏み出せず、去年のチア・キャンプにも参加されました。この度、奥さんも決断されたとのこと! とても感謝なご報告でした。それで、先日は夫妻で教育委員会に行かれたそうですが、難しかったようで、相談の電話でした。

教育委員会に「認めていただく」という意識があるようでした。私も初めはそうでした。先日Cさんに宛てて、稲葉さんがアドバイスされたメールを読んでいましたので、そのことについて話しました。その他、社会性、学校との関係等、Eさんから聞かれたことで、私から話せることは話しました。

HPは事前に目を通していたようですが、じっくりではなかったようですので、再度しっかり読まれることを勧めました。次回は、Eさん1人で面談だそうです。稲葉さんたちに伝えること、お伝えしましたので、よろしく願いいたします!

+++++

■稲葉から麻里さんへ

Eさん、良かったですね。

Eさんに、「出発おめでとう! うれしく聞きました。祝福祈ってます。学校・教育委員会の件は、HPじっくり読んでくださった上で、もし、質問やコメント等あれば、遠慮せず、何でも連絡くださいとお伝えください。また、この後、何かありましたら、早めに、ざっくばらんにご連絡ください」とお伝えください。

+++++

■麻里さんから

先ほど、E夫人より電話がありました。今日、ご主人が教育委員会に行かれたそうですが、「ダメだったみたいですね。」

かなり、状況は厳しいとのことですが、今回は心を決めて、備えをしたとのことですが、かなり、高圧的、脅迫じみたことも言われたとのこと…(「虐待に対する調査が入る」等の表現で)。

相手の教育委員会の方も、チアのHPから20枚ほど、ダウンロードして読んでおられたそうです。

何を言っても、「反対」「認められない」という視点から返事をされたとのことでした。

Eさんの方から稲葉さんたちにメールで、具体的に連絡されるとのことです。結果的に再度話し合い…ということになったようですが、アドバイスがあれば助かるかと思いました。

+++++

■桑谷さんから麻里さんへ

ご対応、ありがとうございました！

東京のBさんの時に対応した教育委員会と似ていますね^_^;。Bさんは、自分の準備不足を反省していらっしゃいましたが、以下のお話を読んで、もしかしたらEさん夫妻も準備不足があるのかもしれないな、とちょっぴり思いました。

メールでのご連絡がありましたら、麻里さんにも転送させていただきますね。

+++++

■Eさんから、稲葉、桑谷さんへ

初めまして。A県B町で震災の支援活動をしているEです。昨年の夏キャンプで妻と子供達がお世話になりました。

4月から長男が小学生の年齢になり、ホームスクールをやりたいとB町の教育委員会に伝えたところ、理解を得ることができず、悩んでいるのでメールさせて頂きました。能登さんから連絡が来ているとは思いますが、何かよいアドバイス等をいただけると嬉しいです。

今日、教育委員会で2回目の話し合いがありました。2名の方との話し合いで、一人は男性でちょっと熱血教師的な感じの教育主任の先生、もう一人は女性で東京から教育委員会に手伝いに来ている方です。

1回目は昨年12月に妻と一緒にいき、ホームスクールを始めたいことを伝えましたが、教育委員会側はまったくホームスクールについて知らなかったの、チアのニュースレターを提示したり、友人のホームスクーラーの様子等を説明しました。教育委員会の反応は、「こちらでも調べてみますので」ということと、B町は被災地であり、学校以外の教育環境（例えば塾など）が整ってい

ないこと、また職員も手薄な状態なので、新しいことを始めることは対応しきれないので、学校に行かせてほしいとのことでした。他の地域のホームスクーラーの事例についても、「東京や札幌などの都会ではできるかもしれないが、被災地のB町では無理でしょう…」といった感じでした。たださえ復興で大変なのに、余計な仕事をもちこまないでほしいというような感じに聞き取れました。

2回目の今日、話し合いに私一人で行って来ました。言われたのは、「学校に行ける生徒を学校に行かせないのは、B町の教育規定にひっかかります」という話しでした。そして他の教育委員会もホームスクールの対応で苦勞しているところが多いとの話しでした。私は、日本の法律上では問題ないことを伝えました。また、1回目の話し合いで、私が「学校と完全に切り離すつもりはないですし、担任の先生に時々、訪問していただき、様子を見に来てもらうなど学校と関わりをもってホームスクールをやりたい」と学校を否定していないことを伝えましたが、いろいろと新しい対応が増えることが負担になると繰り返し話してきました。それで、今回は「学校側に何かお願いすることをしませんので、ただ、見守ってください」と配慮して話したつもりだったのですが、その話をすると、逆に「いや、せっかくB町に来られたのですから、学校側が何もしないなんてことはできませんよ」とのことでした。教育委員会側は、とにかく学校に行かないことが迷惑だそうです。また、教育委員会に支援に来ている女性からは「同じ支援を目的として来ている人間として言わせてもらいますが、被災地に支援に来ているのに、かえって現地の人に迷惑をかけようとしているのが理解できない」と憤慨されてしまいました。かなりショックでしたが、冷静になる努力をして、「支援に来ていることと、私たち家族の教育方針とは関係ありません」と答えました。

そのあとも、繰り返し、「他の地域ではできるが、B町（被災地）では無理です！」と何を伝えてもこの返事ばかりでした。

ホームスクールの内容については理解しているような気はしますが、「学校に行きながらB町スタイルのホームスクールを考えませんか？」と結局、学校に行くことが絶対条件的な話しをもって



練習生 — この後、この日、2回めの1500m走へ！

いこうとする様子が伺えました。私としては、これは何回話しても平行線のような気がします。次回も話し合いの場を作るということで終了しましたが、たぶん同じ話になるのではないかと思います。次回は学校の校長も話し合いに加わるとのことです。そこで、私としては、次回で話し合いを最後にして、終わったあとに、文書で「ホームスクールをすることにしますので、よろしく願います」と送って終わりにしたいと考えています。

稲葉さん、桑谷さんのご意見等がありましたら、是非、教えてください。よろしく願いいたします。

苦難の意味

■桑谷さんからEさんへ

この度は、ご丁寧にご説明のメールをいただきまして、心から感謝いたします。昨年のサマーキャンプでは、Fさん（奥さん）といろいろ交わりができて感謝でした（^_^）。

まずは、遂にホームスクーリングをご決断されたこと、おめでとうございます！ 教育委員会の辛辣と思える対応にも、Eさんご自身が冷静に対応されたこと、本当に良かったな、と思います。

具体的な対応や対策につきましては、後日、稲葉さんから連絡があると思いますが、まずは私の印象を伝えさせていただきますね。

教育委員会が辛辣な対応をしてくる場合、共通しているかな、と思うのが、もう一度、ホームスクーリングへの確信を神様が確認させようとしておられる点です。このようなケースを通られた方は、異口同音に自分の準備不足を反省され、再度、しっかりとホームスクーリングを見つめ直すことになって良かったと、最終的にはおっしゃいます。Eさんもそうだという意味ではありませんが、ただ、もう一度、「なぜホームスクーリングをするのか」「ホームスクーリングの目標」「どのように進めていくのか」など、お子さんたちも含め、家族で再確認し合うのもいいのかな、と思いました（お子さんたちが理解するかどうかは別にして、お父さんとお母さんがしっかりと考えた末、決めた道であることが伝わるといいかな、と）。

特に、被災地のように、まだまだ復興途上の環境の中では、他の所とは違ったチャレンジも出てくるかもしれません。また、これは被災地に限らずですが、子どもたちが成長してきた時、寂しさを口にすることもできません。そんな時、立ち返るべき原点をしっかりと持っていることは、大きな助けになるだろうと思うのです。その時こそ、揺る

がない神様への信仰、信頼を、子どもたちに伝えていく絶好のチャンスになるのではないかな、と。

また、ホームスクーリングが復興支援に逆行しているという先方の主張は、まったく間違っているかな、と思います。こんなに積極的に復興支援に携われる方法は、他にないと思うのです(^_^)。御存じの通り、チアのホームスクーラーたちは、8回ほど岩手・宮城に向かい、ボランティア活動に携わることができました。現在も、引き続き、交流が続いています。それは、ホームスクーリングをしていたおかげで、時間的にも可能となり、具体的な行動に移すことができたのだと思います。学校に行っているクリスチャンの子どもたちの多くは、「自分も行ってみたいけど、学校があるから…」とあきらめていました。

そのあたり、神様に導かれまして、どれほど多くのホームスクーラーたちが支援活動に携われてきたか、お伝え下さい(^_^)。(ニュースレターであれば、121号～129号、131号。マガジンであれば、34号～37号にチアの東日本震災ボランティアのドキュメント記事が掲載されています)。実際、大人とティーンの子どもたちが訪ねて行き、様々なボランティアを継続的にさせていただいたことは、釜石でも、大船渡でも、石巻でも、仙台・若林区や宮城野区でも、とても喜んでもらえたと思います。

ただ、Eさんがおっしゃるように、話し合いは平行線のまま終わるかもしれませんが、この機会を通して、Eさんご夫妻の信仰が強められ、これからのホームスクーリングの糧となりますようお祈りいたします。

+++++

■稲葉より

ホームスクーリング、神様の召しを確信されての出発、おめでとうございます。支援活動で奮闘中のお話、奥様から昨年、伺っていました。また、堀井洋二さんや卓さんから、御夫婦の試練を益と変えられて、神学校に向かわれた証しを伺って、ますますのご活躍を祈っているところで、これからの歩みの上に、一層の主の祝福を祈っていますね。

教育委員会との件、大枠はわかりました。基本

的に、これまで全国でいくつかあった事例と重なっていて、問題なくホームスクーリングを進められると思います。全国で、教育委員会のお陰でホームスクーリングが不可能になった事例は、この14年間、1件もありませんので、どうぞ、ご心配なく。ご夫妻への神様の召しというところが確かであり、そこが揺れなければ、威風堂々、進んでいくことが可能と思います。

また、教育委員会や学校、地域の皆さんには、やり方によっては、地域の子どもたちの幸せにつながる教育の本質を問いかけ、イエス様の証しの機会に有効に用いることが可能です。そのあたり、お答えしたいと思います。詳細をつかめていないところがあるので、理解不足や的外れのところがあれば、お許してください。

各論に入る前に、先々週、東京の中学生の親御さんから、学校との話し合いについて、アドバイスを求められました。能登さん経由で、話は伝わっているかとも思いますが、確認のため、まずEさんたちのための参考事例の情報として送らせていただきますね。

(ということで、その後、ニュースレター1月号(142号)、マガジン40号に掲載することになったCさんとのやり取りを転載しました。詳細はマガジン40号、HPでご確認ください。ポイントとして「準備の必要」「敵対せず、礼節と謙遜を尽くし、同時に泰然と確信を持って臨む」「ホームスクーリングは、親の責任で実施。教育委員会・学校に許可を求め、認められて行うのではない」を中心に書いています。)

では、Eさんのケースで感じたことを書きますね。

> 今日、教育委員会で2回目の話し合いがありました。
> した。2名の職員との話し合いで、一人は男性
> でちょっと熱血教師的な感じの教育主任の先生、
> もう一人は女性で東京から教育委員会に手伝い
> に来ている方です。

> 1回目は昨年12月に妻と一緒にいき、ホーム
> スクールを始めたいことを伝えましたが、教育
> 委員会側はまったくホームスクールについて知
> らなかったの、チアのニュースレターを提示
> したり、友人のホームスクーラーの様子等を説

>明しました。

上記のCさんと同様に、私からEさんへの質問です。HP、マガジン等の「学校、教育委員会への対応の仕方」を熟読し、十分、準備されて臨まれたでしょうか？ ニュースレター等の提示は良かったと思います。HP、マガジンに「提示のねらい」を書きましたが、その時にマガジン各号（できれば、国会議員〔大臣、副大臣、自民党、民主党を含む〕や阪神のマートン、スタンリッジらとのインタビューが出ている号、文科省とのやり取りが書かれてあるページ、映画と連携している表紙の号、ホームスクーラーの一般の子どもたちと比べた優位な結果が出ている比較データを掲載している号、弁護士のページ等ほかにポストイットを貼って、、、）、コンベンション、キャンプ、白馬のパンフ、チア発行の教科書、教育書とか、プレゼン資料を持っていかれたでしょうか。先方は教育者でもありますが、立場として、個人ではなく、公僕というか、お役所というか、公務員でもあります。他の市町村ではどういう扱いをしているのだろうか、、、これは、オウム真理教の洗脳教育みたいなものなのだろうか、、、教育委員会や公務員として、どう対応したらいいのだろうか、、、という思いが、大なり、小なり、あると思います。

確認ですが、それゆえ、ミーティング前に、2分時間をくださいと言って、テーブルにおもむろに資料を並べ、そこから始めると効果的ですが、そのようにされましたでしょうか。なぜなら、上記の資料を、短時間で、でも、丁寧に提示することで、これが全国的な動きであることが一目瞭然になり、議論のスタートポイントが変わるからです。陰に隠れた動きではなく、法的にも政治的にも、あるいは、社会的にも、堂々と展開されている全国的な動きのいったんとして、当該の教育委員会の方々の面前にいるんだ、、、ということになります。つまり、わが町で初めて変なことを始める、やっかいな宗教の人という存在から、教育の原点に立ち返ろうとの真面目な働きで、全部やみくもに否定したら、国会議員（自民、民主）、弁護士、全国レベルの支援団体、300万人に及ぶ海外のホームスクーラー&弁護士団体、文化・スポーツ・知識人ほかを敵にして戦う必要がある方なのかもしれない、、、というレベルのことですとプレゼンで

きるわけです。

その意味で、今回、書かれてある「ニュースレターを提示」というレベルではなく、「スーツケースいっぱい分を持って行って」、、、という方法を薦めています。実際、私自身、教育委員会や学校側との話し合いと一緒に参加してほしいと言われた時は、このようにしました。また、国会議員や文科省の人々ほか、初めての取材関係等の場合には、そのような努力をしてプレゼンし、その後の関係をスムーズにすることができましたので、お勧めしています。次回、校長やほかの教職員とのミーティングの時は、ミーティングの人数ももっと増える可能性があります。「それでは、会議を始めましょうか…」と先方が言った、その瞬間に、「まず2分、時間をいただけますでしょうか。我が家が行いますホームスクーリングの全国のアップデート情報を提供させていただこうと思います」等と言って、謙遜と愛と、友好的なこやかなムードと祈りによって、スーツケースを拵げて、テキパキとプレゼン資料をテーブルに広げて、そこから始めることをお勧めいたしますがいかがでしょうか。これは伝道にもなることで、Eさんが、本来、心から喜んでできることと思います。

能登さん経由での奥さんの情報によると、先方は、チアHPの「教育委員会対策」を印刷して読んでおられたということでした。それは、ある程度、情報をつかんでいてくれてるということで感謝なことです。一方、その上で、と来ているわけですから、こちら側も、しっかりと対策を打っておかないと足をすくわれることになる可能性もあります。これまで、HP等にした方法を実践して、ひっくりかえされたとの報告はないので、ぜひ、実践してもらえたら、、、と思いますが、いかがでしょうか。

>教育委員会の反応は、「こちらでも調べてみま
>すので」ということと、A町は被災地であり、
>学校以外の教育環境（例えば塾など）が整って
>いないこと、また職員も手薄な状態なので、新
>しいことを始めることは対応しきれないので、
>学校に行かせてほしいとのことでした。他の地
>域のホームスクーラーの事例についても、「東京
>や札幌などの都会ではできるかもしれないが、
>被災地のA町では無理でしょう…」といった感

>じでした。ただでさえ復興で大変なのに、余計
>な仕事をもちこまないでほしいというような感
>じに聞き取れました。

僕としては、HP コメントを読んだ上での反論と
聞いていたので、どんな理論的な挑戦が来るのか、
楽しみでしたが、「なーんだ、、、」という感
じです。Eさんの心に残った教育委員会の方のことば
には、「Eさんの子どもさんのために」ということ
ばが、ありません。要は、教育委員会や町役場の
皆さんが、「新しいことに対応できない」ので、やっ
てくれるな……ということで、仕事を増やしたく
ないということが繰り返されていますね。そこは、
教育委員会等の本音の一つとして、親として、心
に刻んでおくべき肝心なことと思います。実際、
ホームスクーリングは学校に依存することはない
ので、仕事量としては、少なくなる一面もありま
す。もし、仕事量が増えて大変だというなら、「そ
こは貢献できますよ……」と、柔和に淡々と答
えるのでいいと思います。

>2回目の今日、話し合いに私一人で行ってきま
>した。最初に言われたのは、「学校に行ける生徒

>を学校に行かせないのは、E町の教育規定にひっ
>かかります」という話でした。そして他の教
>育委員会もホームスクールの対応で苦勞してい
>るところが多いとの話でした。私は、日本の
>法律上では問題ないことを伝えました。

それは良かったです。次回、校長等から同様の
話が出た場合、法律について書いたページや弁護
士さんたちのページ等、さっと示していただされば
と思います（マガジン40号65～69ページ参照）。
必要あれば、憲法の条項等の小見出しだけでも、
さっと読み上げればいいと思います（HPにもある
し、今号のチア・マガジンの記事にもあります）。
その時に、文科省の課長と話し、「親御さんが選
ばれたら、こちらは基本的に督促状を出すぐらい
しかできないですから」と言っていたと、早めに
伝えればいいと思います。上級官庁の課長がそう
言っていたら、自分があれこれ言っても、、、とい
う事実、まず直面してもらう必要があります。

>また、1回目の話し合いで、私が「学校と完全
>に切り離すつもりはないですし、担任の先生に
>時々、訪問していただき、様子を見に来てもら



雨のスタジアムを駆け抜ける仙台から参加の2人の2位争い
(5キロ走／田中喬士君と今井洋君／台東リバーサイド陸上競技場)

>うなど学校と関わりをもってホームスクールを
>やっていきたい」と学校を否定していないこと
>を伝えましたが、いろいろと新しい対応が増え
>ることが負担になると繰り返し話していたので

こちらから、「学校にお願いはしない」方が良い
と私は考えます。今回、Eさんが体験された通り、
上記の教育委員会の方のような反応が返ってくる
からです。筋を通さずに一つ妥協すると、その後
は、もっともっと妥協しなければならなくなるわ
けです。真理に立って、堂々と真摯に向かうのが
原則だし、王道と思います。基本的には、順法精
神のもとに、子どもたちにベストの教育を授けよ
うと、自主独立して教育を行う姿勢ですので、そ
こは確信をもって臨み続けられればいいと思います。

でも、たとえば、学籍等の依頼があれば、協力は
惜しまない。全国でも、1人、学籍があることで、
クラスが2クラスできるとか、1クラス減らさざ
るを得ないといったことがあったり、予算や補助
金の関係上、お願いしたいと言われて、協力して
いる事例もあります……ということですね。体育
とか遠足とか運動会だけ出る……みたいにして始
めたホームスクーラーもいますが、1年後にはや
めているケースが多いです。そこだけ出ても、「二
心」という感じで、子どもに良い影響が出ないで
すね。例外的にうまくいったケースとしては、障
害等のある子どもさんたちで、担任の先生が週に
1-2度、自宅に来て、個別に見てくれたとかの
ケースはあります。

>今回「学校側に何かお願いすることをしません
>ので、ただ、見守ってください」と配慮したつ
>もりだったのですが、その話をすると、逆に「い
>や、せっかくB町にきたのですから、学校側が
>なにもしないなんてことはできませんよ。」と伝
>えてきました。

そういう返事になると思います。「見守ってくだ
さい」といったお願いごとは、一切、不要と思
います。なぜかという、相手側の皆さんは、どん
な好意をもったにしても、立場上、「わかりました。
見守ります」等、賛同意見を言えないからです。
逆に、そのようなお願いごとをすると、墓穴をほ
ります。平和的な関係を、、、という気持ちもわか

りますが、そこで手を結ぼうとするのは、先方に
してみれば、立場的に無理です。

上記のCさんと同様、以下のポイントが大事で
す。学校・教育委員会との話し合いは、許認可を
求めに行くのではありません。愛と感謝と誠実と
忍耐と祈りの故に、情報提供のために行くだけ
です。ミーティングは、誠実に、愛と謙遜をも
って行い、敵対したり、失望したり、がっかり
したりするものではありません。伝道と同じ
ですね。でも、学校任せではなく、親が責任
を持つということは、今後、B町の皆さん
の「教育の本質」を助けることにもつなが
っていく真理ですから、そのピュアな
実践例として踏み出しますので報告
します、みたいな姿勢です。決して、何
かをお願いしたり、許可や理解、協力を
求めに伺う場ではなく、こちらからの
善意で情報提供に伺うという原
点からずれないことが大事です。

>教育委員会側は、とにかく学校に行かないこと
>が迷惑だそうです。

それは、そのように言うと思います。ここ
でも、「画一的な教育の問題等も考え、個人
の尊厳、教育の在り方、親子の関係等を
しっかりとみつめていきたい。誠実に
神様に示されることを考え、最善の
教育に全力を注ぎ、真摯に実践し、
努力と犠牲を払っていきたい」とい
った感じの応答でいいのではと思
います。

>かなりショックでしたが、冷静になる努力をし
>てから、「支援に来ていることと、私たち
家族の教育方針とは関係ありません。」と
返しました。

「子どもたちが、健全に伸び、家族が充
実してくるとますます、B町に貢献でき
るようになると思っています」とい
う応答はいかがでしょうか。これは、
今後、教会の人々や教団、Eさんたち
を支援している人々から同様の反対論
が出た時の対応方法でもあります。実
際、そのような展開になっています。
ホームスクーリングをしていたお陰
で、東北の人々へのボランティア活動
も1年半にわたってでき、今日にも
つながっています。ホームスクーラー
のため、時間も融通でき、また、実
際に行動しようとする心も育んでい
けたから実現で

きたとも思います。また、神様が祝福され、そのようなボランティアの機会や人々との出会いを、特別にプレゼントしてくれたのでは、と思っています。今年の大学受験生が面接試験で、ボランティア体験を話したら、実際に6回も8回も被災地に足を運んだ受験生はいない感じで、試験官の皆さんがびっくりされ、ホームスクーリングを良い感じに受け止めてくれましたとの報告もありました(^)。

親と子どもが孤立し、こもってしまうというイメージを持たれるかもしれないですが、実際は、逆で、地域の人々にどのように仕えていくか、心をはぐくみ、また、親の姿を見せながら、実践的な訓練を重ねていく教育という側面を話してもいいかもしれないですね。

>そのあとも、繰り返し、「他の地域ではできるが、>B町（被災地）では無理です！」と何を伝えて>もこの返事ばかりでした。

まず、最初から、上記の大事なポイント、「許認可を求めに来たのではなく、情報提供に来ました」「順法精神で、親が責任と犠牲を払い、肅々と最善の教育を進めますので、特に町や学校側にお願いしたり、許認可やご協力を求める趣旨のミーティングではありません。全国で展開されているホームスクーリングの一つということで、情報提供できればと思っていますので、何でも、ざっくばらんにお尋ねください」とポジションを明確にしておく必要があると思います。そうすれば、「B町ではできない」と言われれば、「B町には、何もお願いしていません。遵法精神のもとに実施するのは、私たち親です。全国の事例と同じです。町に許認可を求めているわけではありません」というポイントを何度も確認すればいいと思います。その時に、怒ったり、皮肉っぽくなったり、ということではなく、寛容に、明るく、堂々と、大胆に、相手を愛するという伝道の思いで伝えるということです。

>ホームスクールの内容については理解している>ような気はしますが、「学校に行きながらB町ス>タイルのホームスクールを考えませんか？」>結局、学校に行くことが絶対条件的な話しに

>もっていこうとする様子が伺えました。私とし>ては、これは何回話しても平行線のような気が>します。

基本的に、そうなることでしょう。

>また、次回も話し合いの場を作るということで>終了しましたが、たぶん同じ話になるのではな>いかと思います。次回は学校の校長先生も話し>合いに加わるとのことです。そこで、私として>は、次回の話し合いを最後にして、おそらく平>行線で終わるような気がするので、(もしくは、>強引に学校に行くように話をすすめられるかも>しれませんが)終わったあとに、文書にて「ホー>ムスクールをすることにしますので、よろしく>お願いします」といったようなものを送って終>わりにしたいと考えています。

「よろしくお願ひしない」方がいいです。Eさんに押さえてもらいたい、一番大事なポイントです。もともと合意を求めるのではないです。福音の種まきが目的です。終わったら、愛と感謝と謙遜と礼儀を尽くし、時間を割いてくださったことの感謝を伝え、あとは、「我が家では、我が家の責任と教育方針のもとに実施します。今後、何か、ご質問等ありましたら、それは喜んで協力したいと思いますので、どうぞ、ご連絡ください」ということで、礼を尽くし、さっそうと資料をまとめ、去っていけばと思います。マガジン等、必要でしたら、置いていきますが……と伝えてもいいですし(^)。 (マガジン等は、教育委員会や文科省、あるいは裁判所等が読んでも大丈夫なように、編集してあります。)

個人的に、ちょっと違った角度ですが、最近、役所等で、ホームスクーリングについて話す機会が与えられ、伝道になりますようにと祈って話しました。目が点になるという感じの雰囲気でしたけど、伝道を願ひ、積極的に話した方が逆にいいんだなと改めて思わされたりもしています。

リンカーン、ワシントン、シュバイツァー、CSルイス、それから、阪神からソフトバンクに移ったスタンリッジとかホームスクーラーですよ……とか、一般の人にはわかりやすいようでした。中には、「アメフトで大旋風を起こしたティム・

ティーボーもそうですよね」と答えてくれるアメフト通の人や、「全米バスケット（NBA）のオールスターのクリッパーズのグリフィンとかもそうです」と言うと、「へー、そうなんだー」という反応もありました。

何かありましたら、ざっくばらんに、何でも連絡ください。

和合の危うさ

■麻里さんより

稲葉さん、Eさん

稲葉さんが書いてくださったメールに一言だけ、コメントをしてお詫びする必要があるかなと思ひ、メールさせていただいている次第です。

> (Eさん) 今回「学校側に何かお願いすること
>をしませんので、ただ、見守ってください。」と
>配慮したつもりだったのですが、

この「見守ってください」は最初にEさんからお電話をいただいた際に、私の方からお話ししたことでした。13年前、私が娘の実里のことで、初めて教育委員会の方とお話をしたときには、私もまだ「認めていただかなくてはならない」と思い込んでいたので、全く話が進まず、蛇の生殺し状態が続いたのですが、その時に、ある方が今回の稲葉さんがご説明されたテーマを話してくれて、ようやく問題がわかったという経験があります。そのあとの話し合いの時には、しっかり立ち、問題なくHSがスタートしました。

その時に同時に、「干渉されないためにも、『遠くから見守っていただくことが私たち家族にとって助けとなります』という言い方は一つの方法ですよ」とアドバイスされて、その後私は一つの知恵として、「我が家には関わっていただかなくて大丈夫です」ということを、上記の言い回しで、いつも対応してきました。

それで、今までもこの方法に関して、他の方たちとも分かち合ってきて、今回もEさんにもお話ししたという経緯があります。でも、実際は、この方法での今回の教育委員会の方の反応は良くな

く、稲葉さんの分析と提言を読んで、この方法はむしろよくない結果をもたらすのだと私自身も教えられました。それで、かえってEさんに申し訳なく思っています<(_ _)>。

次の話し合いの時にも、神様がEさんを支え、さらに固く立ち、前進させてくださることを心より信じ、祈り、応援させていただきます！

+++++

■稲葉より

Eさん、能登麻里さん

>この「見守ってください。」は最初にEさんから
>お電話をいただいた際に、私の方からお話しし
>たことでした。

そうでしたか。そうであれば、チアから、Eさんにお詫びしますね。お許してください。人間のコミュニケーションなので、時には、能登麻里さんが聞いた方法で機能するケースもあったのだとも思います。また、女性ということで、「見守ってください」と言われて、大目に見るか……ということもあったのかもかもしれません。

でも、普通は、今回のようなリアクションが予想されるので薦めません。先方は、返答は個人としてというよりは、市町村役場なり、教育委員会なり、学校なりを背負った気持ちで、発言される方が多いと思います。ホームスクーリングを見守ってくださるとこびる感じで言われると、何か、肯定してもらおうとしているな……と受け止め、「それはできない」と否定、あるいは、反撃のチャンスととらえたり、自分たちは、「許認可」、「指示・命令」や「拘束」できる立場かな……と誤解させてしまうリスクが高いかとも思います。

前回、書いたことと少し重複もありますが、もっと重要ポイントがクリアにできる、良い機会だと思いました。それで、改めて、新しい角度から確認しておきますね。(その意味で、能登麻里さんのコメントも意味があり、すべて益と変えられるの聖句通りかもしれませんね(^。))

実際、教育委員会、学校等の90%あまりの方々には、「親が教育の責任を持つというのは、教育の原点ですね。立場的には認められませんが、個人的

には、素晴らしいと思います」という反応が、返ってきています。見識の高い教育者の方々のケースですね。私が尊敬する、ある教育委員長からは、「これこそ、素晴らしい教育そのものです」と感激され、励まされたこともあります。そのような見識ある方々であっても、普通は、ホームスクーリングの良さを認める場合には、「個人的な見解ですが」との条件が付きます。そうでない、「聞いたことのないホームスクーリングなどやってくれるな。とにかく、学校へ……」という方々、約10%の教育委員会、教職者の方々もいますし、いずれにせよ、「見守ってください」的なアプローチは、すべきでないと思います。

日本的な「まあまあ」とか、「和の心」的なアプローチをすれば、それは、「法的な根拠の無さ」のため、何とか、穏便に見逃してほしいと、すり寄ってきていると取られるリスクが高いからです。

それゆえ、敬意をもってですが、まっすぐに正攻法で行くべきと考えます。なぜなら、憲法的にも、教育学的にも、国際法・自然法の見地からも、親が責任を持って子どもたちを育てていくことを、国なり、地方公共団体や教員が否定することなどは、できないからです。子どもが将来どうなっても責任を持ってない方々に、真剣に子育てをしようとする親に対し、支配や命令をする権利や法的根拠はありません。激しい論争で著名なアメリカの50州のすべての最高裁で、論議が尽くされ、攻撃が尽くされた上で、ホームスクーラーが権利を勝ち取り、崩されることは無かったです。この「親の教育権」「ホームスクーリングの権利」「基本的人権」「学問の自由」等の人権や自然権には、国連憲章や国際法上でも認められた論理的な確固とした論拠があるわけです。

裁判所での答弁のように無駄なく、イエス様がパリサイ人たちに話したように、真理に確信を持ち、妥協せず、誠実にストレートに核心をつくということが大事と思いま

す。

私と話した文科省の課長さんは、国会議員の方から、「この方のポジションは、将来、事務次官になる方が務めるポジションです。おそらく将来の事務次官になれるでしょう」と紹介された課長さんです。その方が私と国会議員や4名の文科省の部下の皆さんを前にして、「親が責任を持ってホームスクーリングをしますと言えば、私たちは、せいぜい、学校に来てくださいと督促状を出すしかできませんので……。それ以上は何もできません」と、真っ先に話されました。それは、上記の法的論拠やアメリカやイギリスでの判例等を知っておられ、さすがに十分、状況を熟知された上での発言をされたのだらうと見受けられ、尊敬を覚えました。各地方の教育委員会、教職員の先生方に、その文科省の担当課長さんと同じレベルのホームスクーリングの情報と認識を最初から求めるのは、酷なことだと思います。

そのあたり、知れば知るほど、神様は、私たちを、理論的にびくともしない、真理の固い岩の上に導かれたのだと感じます。Eさん、ぜひ、今後のミーティング、主の力に満たされ、がんばってください。

+++++

その後、約2ヶ月、Eさんから「圧倒的な勝利



チャ・ランナーたちをコーチング中の真鍋未央さん

でした！」とご返事をいただいて、Eさんファミリーのホームスクーリングが始まります。途中、分かち合いたい、やり取りがいくつかありました。続きは次号以降にレポート予定です。

ジョイラン・ イエスさまと疾走！

3月20日（木）、第一回チア・ジョイランニング with 真鍋未央さんワンデークリニックが開催され、とっても楽しく、鍛えられる最高の一日でした。参加者は、関東一円に加え、新潟、仙台等からも含めて82名の健脚たち。当日は冷たい雨でしたが、

全天候型スタジアムも与えられており、また、陸上の大会は、雷が鳴らない限りは雨天決行が常。「人生山あり、谷あり」ということで、チアらしく、ものともせず、雨天決行です。

最初の5キロは、外周からスタジアムに入るコース。競技場へのシャッターを開ける間等、時間がかかり、スタートラインの約40名のランナーたちは、びしょ濡れ。僕も寒くて、「藤井さーん、早く、スタートしてください。寒いで一すよー（笑）」と呼びかけざるを得ませんでした。でも、「みんな、雨の中、濡れて走るのを楽しんでみたいでした」とコメントをいただくほどに、楽しかったです。

5キロの優勝、男子はチア・サポートスクールの堀井勇士君。女子は、ホームスクーリングママの桐山明日美さん。1500m総合優勝は、宮城から参加の今井洋君。女子は、チア・サポートスクールの藤原佑里子ちゃん。そのほか3-5歳100m等、各年齢別の競技が恵みの中で実施されました（出走者の全記録は、チアHPへどうぞ！）。僕は、5キロは最後に仙台の松岡恵悟君（14）に抜かれて6位。1500m走1回目も、松岡恵悟君に1秒差で敗れて4位でした。1500m走2回目は、抜き返して、1500mは総合で3位となりました。でも、ちょっと、「メダルもらっていいのかな、、、」と思いがながらの受賞で、次回は、堂々、もらえるように頑張ろうと思いました。毎回、神様は、良きラ



応援もヒートアップ！ 3歳児から82名が疾走&ストレッチ！
7歳児も2人、5キロ完走！ 未央コーチ（右）が、熱心にチェック！

イバルを与えてくれて感謝です。

コーチの真鍋さんも、とても良かったです。コーチングは的確で素晴らしく、「こうやって走るんだ」「ストレッチの時、前の足をまっすぐにするんだ！」と参加者の皆さんに大好評でした。お昼の全員自己紹介の時間で、彼女の番になると、「なんか、みんな喜んで。とても仲がよくって、家族みたい。ほかの団体と、雰囲気が違うんですよ。どこから来るのかしら…」と真面目におっしゃっていたので「（稲葉）イエス様からですよ（みんな笑い）」と言うと、「そうなのですか。私が、元気をもらった、、、という感じです」みたいに、おっしゃってくれました。お世辞という感じはまったくなく、みんなも、「喜んで。家族みたい。違う」と言われ、とても励まされていました。僕たち、そう見えるのですね。神様に感謝です！ この日を目指して、3人の子どもたちが5キロの練習に励み、走れるようになったというパクさん家族ほか、多くの皆さん、「ホームスクーラーの実力アップ」への新たな目標設定に喜びの声があふれました。

午後の講演後、真鍋さんも加わって、みんな一緒に外周をロードワーク。「チア・にっぽんマラソン部誕生！」みたいな迫力でした。何人か、「すごい軽やか。どうしてこんなにフォームがいいの？」と褒められるホームスクーラーも。将来は、みんな

なで、「箱根駅伝」や「ニューイヤー駅伝」とかをめざせたらいいですね。藤井一朗実行委員長のマツト・跳び箱も好評でしたし、来年もまたやりましょう！ということに進んでいます。来年は、5キロに加え、10キロマラソンも加えようかと検討中です。

ちなみに、9月中旬～10月上旬のどこかで、第4回のチア・オリンピックも開催予定。こちらは、ハードル走を加えるぐらいの変化で臨もうかと考えています。新しい角度からのチャーチ&ホームスクーラーの強化対策、今から、準備のほど、どうぞ、よろしくお願いします。

神への感謝

翌21日は、「桑谷美穂さん・チア祝10周年記念サプライズ（のはずだった）パーティー」が開催されました。最近、僕の秘書的な役をしてくれている娘のエミリが、日ごろ、舞台裏で働く美穂さんの姿を実際に見て驚き、提案した企画です。

サプライズゲストとして、山梨県からかけつけた美穂さんのご両親の登場で美穂さん、涙がポロリ。すかさず、ポトラックランチ。各ご家庭で、心を込めて作ってくれた食事を楽しみ、それから、家族で楽しむゲーム大会、116人によるフルーツバスケットで盛り上がりました。

そこへ2番めのサプライズゲスト、渋滞で遅れた希恵ちゃんら、チルミニリーダーチーム8人が、仙台から到着します。124人による椅子取りゲームは、最後、梶山志津さんをエミリが破って、優勝！

そして、各家族からの感謝のことが始まりまりました。チア事務局から徒歩3分に、女子寮があります。そこで、美穂さんと約半年にわたって長屋暮らしをした、小畑由美さんと3人の子どもたちも、長野県下諏訪市から来ました。御主人の英基さんが2年半前、白血病となり、移植手術のために、虎の門病院に緊急転院。毎日、看護に通うため、東京の住居が必要で同居しました。その時は、英基さんは生死を彷徨う状態で、美穂さんと小畑ファミリーは、人生の特別な時間を6ヶ月間、一緒に過ごしました。「美穂さん、私たち家族の危機を、陰で助けてくれて、ありがとう！」と会場と下諏訪と結ばれた電話で、危篤状態から回復し、



山梨からかけつけたご両親のサプライズ登場で、思わず涙の桑谷美穂さん

現在、リハビリ中の英基さんが、元気な声でお礼を言いました。

その後、あるチア・メンバーの方から贈られた参加者全員分の景品を当てるビンゴ大会で楽しみ、「みんなからの感謝の声・第二部」では、全国各地からの祝メールも読まれました。いつも関西コンベンションや白馬でチルミニ賛美をリードしてくださる四国の山川哲平さん&真紀子さん夫妻は、「あまり、本人は気付いていないかもしれませんが、美穂さんの誠実な姿が、多くのチアにっぽん参加者の励ましになっていますよ。チアに出会って8年ぐらい経ちますが、私たちは、本当にチャーチ&ホームスクールにして良かったと思っています。3歳でホームスクールをはじめた長女はもうすぐ12歳です。英語で会話ができ、聖霊様に触れられ、泣きながら祈るような子に育ちました。毎日、家族でディボーションできたり、親の伝道旅行についてこれるのも、ホームスクールだからなせるわざです。現在のチアや、私たちがいるのも、美穂さんの献身的な働きと祈りがあったからこそ、できた事だと思っています。感謝しています！」

先輩スタッフで、今はお母さんになり、ホームスクーリング中の南雲（旧姓 藤本）恵理子さんは「美穂ちゃん、10年になるんだね。本当によく続けてくれたね！ いろいろな種類のお仕事がたくさんあるのにもかかわらず、美穂ちゃんはあわてることなく、いつもきちんと一つ一つお仕事をこなされてきましたね。その一つ一つが、確実に、次世代を担う子どもたちの力となり、励ましとなっていることを、事務局とは違うところに身を置いてみて、さらにわかるようになりました。くれぐれもお体に気を付けて下さいね。いつも応援しています。そして、主の助けと導きが、日々ありますように、お祈りしています。感謝をこめて」

会の最後に、突然、堀井卓さんが、「逆サプライズ！」と言って、稲葉家への感謝の時間を持ってくれました。僕は、日ごろ、皆さんから十分に感謝され、また、実際、未熟さと不徳を思うことが多いので、文字通り、恐縮しました。

旗揚げ集会から参加している赤津裕治さんは、「15年もの間、一緒に人生を過ごしてきました」とのことです。一緒に参加したジョセフには新鮮だったようで、「稲葉ファミリーにありがとうって言ってたよね。僕も稲葉ファミリーだよ」「そうだよ。日本に来るのはミッションで、チアのみんなを励ますのが、大きな目的の一つだよ、、、といつも話すでしょう。そのミッションへのプレゼントが今日、もらえたんだよ」「良かったなー。うれしいなー」と話しあいました。和紀子や真祈史にも、特別な一日を伝え、陰で支えてくれた美穂さんに、改めて感謝しました。



124名のまごころこもったポットラックパーティー。ケーキやクッキーも！



詩篇と感謝のことは入りの手作りケーキも！

**鳴きながら、まっすぐに近づく
雌牛のように（1サムエル6章）**

冒頭に伝えました、「神の臨在がわからなくなるような苦難の最中の4つのポイント」の伝道者

Aさんは、以下のように話しを閉じます。「第一サムエル記5章では、神の箱を奪ったペリシテ人が様々な災いにあい、イスラエルに神の箱を送り返そうとします。乳を飲ませている雌牛に車をつなぎ、引かせます。もし、雌牛が、母の情に逆らい、子牛に構わず、イスラエルに箱を届けるなら、災いは、やはり、神の箱から起こったことだ。でも、そうでないなら、偶然だと。」

『すると雌牛は、……一筋の大路をまっすぐに進み、鳴きながら進み続け、右にも左にもそれなかった』（1サムエル6：12）。

「私たちの困難な歩みの中で、初日は真っ暗闇。2日目も絶望的な暗闇が続くことがあるかもしれない。でも、神様は雌牛のごとく泣きながら、みんなのところに、まっすぐに歩いてきてるよ。自分の子牛、イエス・キリストを犠牲にして。それだけ、みんなのことを愛してならない。第3日になれば、そのことがわかる。第3日は必ず来るから、神様に不満を率直に伝え、信頼し、静まり、そして、神様がしてくれた恵みを忘れずに、思い起こそう！」

暗闇の初日、2日目、希望と勝利、そして幸せの3日目、、、を思いながら、少し涙が出てきました。雌牛のように、ひとり子、キリストの犠牲を伴いながら、まっすぐに歩み、近づいてくださる神様を心から愛し、従い、伝えていきたいと改めて思いました。

先月のLAマラソンで学んだ教訓、書こうと思いましたが、今月号はスペースが無くなりましたので、次号に順延します。日本から帰国して1週間後、4月5日（土）に、ハリウッドハーフマラソンに出走しました。初めてのハーフ（21キロ）で2時間4分と、タイムも、ほぼ目標達成。3度のケガで、合計6ヶ月あまり、忍耐を強いられた教訓がすべて益と変えられ、走れることを心から感謝し、ゆとりをもって走れました。神様にあるゆとりの大事さを教えられながら、走る日々です。詳細は次号にて。

来るコンベンションへのご参加とお祈り、どうぞ、よろしくお祈りします。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

チア・コンベンション 2014

大阪 スケジュール（予定。変更の可能性あり）

【5月30日】

9:10	受付開始
9:25	プロムナード 賛美
9:35	開会 挨拶と祈り
9:50 ~ 10:50	基調講演 1 ジム&カレン・ストーバー
11:00 ~ 11:30	基調講演 2 ピリポ・ブローマン
11:40 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 13:30	賛美 インフォメーション
13:30 ~ 14:20	分科会 1
14:35 ~ 15:25	分科会 2
15:40 ~ 16:30	分科会 3
16:30 ~ 16:45	インフォメーション&祈り

【5月31日】

9:10	受付開始
9:20	プロムナード 賛美
9:30	開会 挨拶と祈り
9:50 ~ 10:50	基調講演 3 ジム・ストーバー
11:00 ~ 11:50	分科会 4
11:50 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 13:40	賛美 表彰式
13:55 ~ 14:45	分科会 5
15:00 ~ 15:50	分科会 6
16:15 ~ 16:45	フィナーレ、チルミニ賛美

東京 スケジュール（予定。変更の可能性あり）

【6月6日】

8:40	受付開始
9:25	プロムナード 賛美
9:35	開会 挨拶と祈り
9:50 ~ 10:50	基調講演 1 ジム&カレン・ストーバー
11:00 ~ 11:30	基調講演 2 ピリポ・ブローマン
11:35 ~ 11:45	インフォメーション
11:45 ~ 13:05	昼食
13:00 ~ 13:30	賛美 インフォメーション
13:45 ~ 14:35	分科会 1
14:50 ~ 15:40	分科会 2
15:55 ~ 16:45	分科会 3
17:00 ~ 18:40	夕食
18:45 ~ 21:00	自己紹介&アップデートタイム

【6月7日】

8:40	受付開始
9:10	プロムナード 賛美
9:20	開会 挨拶と祈り
9:30 ~ 10:30	基調講演 3 ジム・ストーバー
10:50 ~ 11:40	分科会 4
11:40 ~ 13:10	昼食
13:15 ~ 13:50	賛美&絵画表彰式
14:15 ~ 15:05	分科会 5
15:20 ~ 16:10	分科会 6
16:30 ~ 17:00	フィナーレ、チルミニ賛美

ジョイスさんの個人カウンセリングについて（予約制・無料）

ジョイス・イノウエさんは、今回のコンベンション中、個人的なカウンセリングご希望の皆さんに、時間を設けたいと計画中です。時間は、1家族 50分で、予約制（無料）。6月3日（火）～5日（木）は、東京・三鷹市&府中市などでも、個人カウンセリングを予定しています。ご希望の皆様は、下記の申込事項を、チア事務局にメール (office@cheajapan.com) または FAX (03-6862-8648) いただければ幸いです。

- お名前 () ■ TEL ()
 ■メール ()
 ■希望場所 大阪会場 () 東京会場 () 三鷹・府中 ()

第5回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

2013年度作品、
HPにアップしました!

<応募要項>

- テーマ : 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門 : (1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部 (3) 中高生の部 (4) 一般の部
- 作品のサイズ : 自由 (※作品の裏に、氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100以内)をお書き下さい。)
- 応募締切 : 5月16日(金)
- 送付先 : 〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん「絵画コンクール」係

※コンベンション会場で表彰式が行われます。作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます。

第3回 聖句書道 掛け軸展

<応募要項>

- テーマ : 聖書からのテーマをもとに、内容は自由。
- 対象 : どなたでもOK!
- サイズ : 八つ切りサイズ
- 応募方法 : 作品に名前を書き、掛け軸に貼った状態でお送り下さい。
(※掛け軸はチア事務局でも購入できます。1個510円+送料400円。
お申し込みはチアまで。FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com)
- 応募締切 : 5月23日(金)
- 送付先 : 〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん「聖句書道掛け軸」係

※コンベンション会場で展覧会が行われます。



早期申込特典 プレゼント!!



4月25日までにお申し込み&ご入金いただいた大人の方に、「聖書6」「聖書10」「聖書11」「りか1」「りか2」「マガジン10冊無料券」「ちよっぴりホームスクーリング考えてます?」「レガシー」「日英副読本」「DVD 聖書」の中から、いずれか1つを、もれなくプレゼント! (プレゼント券2枚で上記の教師用ガイドもOK) ぜひ、お早めにお申し込みを!

大阪・東京ダブル参加 特典!!

東京・大阪2会場ともにご参加をご希望の皆様へのプレゼント!

大阪の参加費は3歳以上は1000円、
0~2歳は無料!! です。

(宿泊費等は別)

大阪・東京それぞれの会場の特徴がありますので、導かれたら、ぜひダブル参加ディスカウントをご利用下さい。

【 大阪 宿泊情報 】

■大阪国際ユースホステル（会場内）

（4月23日までに、チアにお申し込み下さい【定員24名】。それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【6名一室：基本的に男女別（乳幼児は別）の相部屋ですが、6名であれば、家族部屋をご用意できます。6名未満での個室をご希望の場合、個室料金がかかります。】

●宿泊費：1泊2,880円、2泊5,760円
（添い寝の乳幼児は大人1名につき1人まで無料ですが、施設利用料300円がかかります）

●キャンセル料金：2週間前まで30%、2週間～当日100%。

【 大阪 食事情報 】

大阪会場では宿泊者以外でも、館内のレストランでの食事の事前申込が可能です（4歳以上から料金がかかります）。ご希望の方は5月16日（金）までに、チア・にっぽん事務局にお申し込み下さい。なお、4月30日（水）以降にキャンセルしますと、規定のキャンセル料金がかかります（2日前まで30%、前日は50%、当日キャンセルは返金なしとなります）。ご変更がある場合は、できるだけ4月28日（月）までにご連絡下さい。

レストラン以外の場合は、昼食をご持参いただき（昼休みが短いため、持参をお願いします）、館内の指定された場所等で食事を取ることができます。

●食費：朝食 650円、昼食 650円、夕食 1,080円

【 東京 宿泊情報 】

■国立オリンピック記念青少年総合センター（会場内）

（5月23日までに、チアにお申し込み下さい。）

●宿泊費

☆相部屋（乳幼児以外、基本的に男女別の4名一室）：1泊3食3,310円、2泊6食6,620円

☆シャワー付き個室：1泊3食4,910円、2泊6食9,820円

●キャンセル料金：2週間前まで20%、2週間～当日100%。

※レストランの規定で、添い寝の場合でも、3歳以上は食券が必要になります。

☆自己紹介&アップデートタイム at 東京コンベンション☆

《 6月6日（金）夜7時～ 大ホールにて予定 》

東京コンベンション会場で、初日の夜、自己紹介&アップデートの時を持ちます！ みんなともっとよく知り合え、励まし合えます！ 1家族の持ち時間（予定）は40秒（個人：30秒）！ 終了後、各地域ごとのミーティングも計画中。

名簿作成の関係上、参加ご希望の方は、参加者のお名前と共に一言アピールを添えて、Eメール（office@cheajapan.com）または、FAX（03-6862-8648）でお申し込み下さい。

チア・コンベンション講演抄録（五十音順・敬称略）

【主講師 基調講演予定 (Keynote)】

ジム&カレン夫妻 (Dr. James & Karen Stobaugh)

■「希望を持っていたのに……放蕩に走るホームスクーラー (But We had Hoped ... The Home Schooled Prodigal)」

皆さん、ハッピーエンディングが好きだと思います。でも、ハッピーでないエンディングの話はいかがでしょうか。聖書に立ち、懸命にホームスクーリングした結果、子どもが、神様と歩む人生を選ばなかったら、どうでしょう？ アブシャロムの人生と、放蕩息子の話を見ていきながら、互いに励まし合いたいと思います。現在、シングルマザーで準弁護士をしている長女との葛藤を分かちつつ、一緒に、聖書から考えたいと思います。正直に分かち合い、率直な質問を受け付けます。この分科会では、ジムとカレンの2人で分かち合います（母親は、時々、他のお母さんと親密に語り合う必要がありますね）。

【主講師 分科会予定 (Workshops)】

☆ ジム博士 (Dr. James Stobaugh) ☆

■「炎は燃え尽きず (A Fire that Burns But Does not Consume)」

この分科会では、西洋哲学の始まりから現代の状況への旅に皆さんをお連れします。哲学者、あるいは哲学ムーブメントについて考察し、偽りに対する聖書的な反論を述べ、同時に明らかになっている真理についても解説します。皆さんは、この分科会が終わる頃には、単に霊的な闘いについて語り合うだけでなく、実際に闘いに従軍することになるでしょう。また、苦悩と悲劇についても示します。古代ギリシャの哲学者アナクシマンドロスから、心理学者ビクトール・フランクルに至るまで、偉大な思想家たちは、部分的には、真実と神からの助言について理解していました。しかし、彼らの多くは、ロゴスである神のことば

の中に単純に示された福音を理解しませんでした。ある人は完全に真理を見失い、大半は真理の一部しか見ていません。真理の全体を受け入れなかったため、はっきりと理解できなかったのです。それゆえ、彼らの思索は役にも立ちえないのです。

この分科会では、神の知識に対抗する議論を打ち壊し、「すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ」る方向で進みます（第二コリント 10：4、5）。イエス・キリストは、単なる哲学的な主張でもなければ、抽象的な存在でもなく、一時の現象でもありません。キリストこそ、「道であり、真理であり、いのちなのです」（ヨハネ 14：6）。希望と確信をもってこの分科会を終えることになるでしょう。そして、イエス・キリストがすべてに勝利されたお方であることをさらに身近に、現実感をもって生きて行くようになります。ピリピ 2：10、11にある通り、「地の下にあるすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、『イエス・キリストは主である』と告白」という堅い信仰をもって、一層、キリストにその人生を捧げて行くようになるでしょう。

■「恋人、伴侶、友達。ホームスクーリングパパは、どのようにして妻を支えていくのか (Lover, Spouse, Friend, and Sister: How a Homeschool Dad Supports his Wife)」

ストーバー博士は、プリンストン大学院神学部で牧会カウンセリングを副専攻し、牧師となる一方、カレンさんの夫として28年間、共に歩んできました。この分科会では、歴史を切り拓く、新しい世代を育て上げるという、信じられないほど重要な仕事を成し遂げるために、夫が妻を支えるべき4つの方法について考えます。

■「ホームスクーリングによって社会が変わる (Home Schooling as a Cultural Revolution)」

この分科会では、伝道的なクリスチャンたちのムーブメントであるホームスクーリングが、リバイバルをもたらす神の新しい働きであることについて、みつめたいと思います。世俗文化の終焉、

都市化、ホームスクーラーによる家族の回復、ホームスクーラーが社会のエリートの地位を占めていくこと、21世紀の文化に見られる良き徴候など、様々な面から語ります。ストーバー博士は、間もなくリバイバルが来ると信じており、その鳴動から、もはや遠い先ではないと捉えています。

■「小学生から大学受験生の作文・小論文セミナー (Teaching Composition to the Elementary and High School Student)」

子どもたちが神さまから召された道が何であったとしても、このような時代においては、文章の書き方を学んでおくことは大切です。書くことは、21世紀における福音の担い手として次世代の若者を備えていくための必然的なスキルです。この分科会では、全米大学受験センター試験 (SAT) の採点官でもあるストーバー博士が、就学前から大学に至るまで、書くことと目的とゴール、そして、書くための大切で実践的なポイントを分かち合います。ストーバー博士は、子どもの心の養育と同じくらい書く技術も重要であると信じています。

■「大学受験 & SAT 対策 (College Entrance Exam & SAT Preparation for Christian Students)」

SAT (米国で高校生が大学受験の際に受ける全国センター試験) で最善を尽くす道は、子どもたちが、どんな障害物があっても、自分の周りの世界を変えて行けるクリスチャンとなるため、神さまが備えた道の1つだと思います。この分科会は特に、最新の SAT I に変化した点に備える上でも意義があります。また、ストーバー博士は現在、SAT I 小論文の採点者であり、SAT の小論文については多くの洞察があります。将来、留学も選択肢の一つとなるかもしれない皆さん、また、今、具体的に備えている皆さんは、この分科会を逃してはいけません！

■「アメリカ留学への招待 (How does one choose a college and be accepted to a College of his/her Choice)」

ホームスクーラーのアメリカの大学への留学の道も広く開かれていて、大学の選択肢もたくさん

あります。では、神さまが入学を召しておられる大学を、どうしたら知ることができるでしょうか。また、どうやったら、神さまに召されている大学の入学受験に合格できるでしょうか。この分科会では、特に SAT I への準備の仕方を説明し、留学への準備の提案をします。ストーバー博士は、大学入試センターで働き、また、ホームスクーラーの入試準備のミニストリーを行っています。また、ハーバード大、アイビーリーグ系大学、スタンフォード大、MIT や、クリスチャン系大学 (ウィートン大学ほか) のリクルーターも行っています。この分科会で特別な洞察を分かち合います

■「人生のために文学批評力を養うには - CSルイスより (How to Teach Literary Criticism)」

CSルイスはおそらく20世紀における最も偉大な聖書論者と言えるでしょう。彼は神学者ではありませんでしたが、古典文学の研究家として権威であり、文学研究で培われた聖書解説の明晰さは、世界中の人々の霊性を高めることとなりました。ストーバー博士は、大学への準備のためと、CSルイスのように、文学を基礎として、聖書の分析を深めるためにも、特に文学をどのように子どもたちに読ませ、生かしていくか、その分析法を学ぶことの緊急性を感じ、取り組んでいます。この世代の中から、神さまが新しいCSルイスを召し出すこと、そして、文学を理解し、分析し、評価し、聖書を、しっかりと捉えていく人物が育っていくことを、ストーバー博士は固く信じ、熱心に祈り、その目的のために、このセッションを行います。

■「オバデヤ時代の終焉 (The Time of Obadiah is Ending)」

「エドムの高慢さと滅亡」そして、「イスラエルの回復」を預言したオバデヤ書。現代におき、オバデヤの時代が終わらんとし、神の時計が終末の時を刻む中で、起こされたホームスクーリングムーブメント。その使命と目指すゴールとは？そしてホームスクーリングの親たちがなすべきことは何か。

☆ カレンさん (Karen Stobaugh) ☆

■「学習を一生に生かすための小学生時代の基礎作り (Elementary Foundations For a Lifetime of Learning)」

小学生時代に教科書等から学ぶ知識や情報の多くは、後にすっかり忘れ去られていることに、私たちはしばしば気づきます。脳がどのように機能するかを理解しつつ、生涯に生きる学習を子どもたちに授けるためには、小学生時代において、しっかりと学習の基礎を築いてあげることが大事です。では、その基礎をいかに築いていくのか、その大切なプロセスを理解することが、この分科会のゴールです。

■「とりなしの祈りへの招待 (Inviting Hearts to Intercession)」

「義人の祈りは働くと、大きな力があります」(ヤコブ5:16)。祈りというのは、神と自分との絆から恵みで与えられる結果でもあります。同時に、日ごろの実践という訓練を通して与えられる賜物でもあります。実際、イエスさまは弟子たちに、訓練として、どのように祈るべきか、祈り方を教えて下さいました。主の弟子として、またホームスクーラーの親として、私たちは祈りという働きに見られる力強さと効果を学ぶ必要がありますし、それを子どもたちに教える必要があります。

■「行き詰った時に — わが子は学習障害なのでしょうか・前後編 (When the Going Gets Rough)」

教えることや子育てに何らかの行き詰まりを覚えている親御さんのための分科会です。レッテルを貼られることは誰も好きではありませんが、事実と直面し、解決への助けを求めるべき時があります。もしかして、私の子どもには学習障害があるのではないかと？ 多くの方がそう疑問を抱いています。どうすれば、それが分かるでしょう？

☆ ジョイス・イノウエさん ☆
(Joyce Inouye MA, Ed.)

■「子どもたちを、『恐ろしいほどに奇しく (詩篇139:14)』神が造られた存在として、祝福するために (How to Bless My Child in How "Fearfully and Wonderfully" God Created Them)」

子どもたちが親から愛され、受容されることがいかに大事であるかを、聖書は私たちに示しています。聖書は、私たちに、どのように「祝福」が引き継がれていくか、5つの領域での方法を示しています。(1) 意味ある触れ合い (2) 語られることば (3) どんなに価値ある存在かを言い表す (4) 特別な将来を描く (5) 行動の伴う関わり合い。この分科会では、どのように子どもたちに祝福を与えるか、愛の遺産と受容を通しての方法をみつめていきます。このセッションを通して、多くの親子が、人生を大きく変えられることとなりました。祝福することで、神の愛が、子どもたちの心と将来の中心に据えられることにつながるからなのです。

■「学習障害を持つ子どもたちを教えるための10の戒め (The Ten Commandments of Teaching Children with Learning Disabilities)」

学習障害を持つ子どもたちを教えるための「10の戒め」は、極めて重要です。この「10の戒め」を学ばなければ、皆さんは子どもたちを教えることにストレスを感じるようになるか、あるいは完全に燃え尽きてしまうでしょう。お子さんにADHD、高機能自閉症、読書障害、処理障害、あるいは学習障害の徴候があるかどうかにかかわらず、戦略またはプログラムを見つけようとする前に、ぜひ最も重要なことは何かを発見してください。

■「学習障害となると、どんな気持ちになるのか (What It Feels Like to Be Learning Disabled)」

学習面で特別なチャレンジを持っている子どもに共感する最も優れた方法は、彼らの弱さを自分も体験してみることです。この分科会に参加した皆さんには、学習障害、聴覚や視覚における問題、書くことの困難さを体験していただこうと思います。さらに、落ち着きがない子、過度に活発な子、非常に注意力が散漫な子について、皆さんが理解できるようお手伝いしたいと思います。

■「子どもの長所と弱点を知る簡単な方法 (How to Informally Determine Your Child's Strengths and Weaknesses)」

もしお子さんが学習障害を持っているなら、どの分野が強く、どの分野が弱いかを見極めることがとても大切です。では、どうしたら、正式にテストすることができるでしょうか。この分科会では、子どもの長所と弱点を知るための簡単な方法をお教えします。これによって、皆さんは子どもたちにより良く教えることができるようになるでしょう。

【基調講演】

■「イエス様から任せられた栄光ある仕事」

ピリポ・ブローマン

「あなたがたは世界の光です。」(マタイ5:14)

これは全てのクリスチャンが参加できる仕事です。その収穫は永遠まで天国に残るものです。子どもや年寄り、体の不自由な人、弱い者など、どのような人でも参加できる仕事です。また、クリスチャンが注意しなければならないことをお話しいたします。

【分科会】

■「経済実験(慶應義塾大学、予約制)」(大阪・東京会場)

赤林 英夫・大垣 昌夫

■伊澤 聡一郎&恵美(東京会場)

東京都世田谷区在住。二男二女(12~2歳)。聡一郎は会社員、恵美は子供を保育園に預けながらの会社員生活を経て2011年4月より長女をHS。2012年4月より兄弟全員でのHS開始。

■「チャーチ&ホームスクーリング - 必ず聞かれる20の質問」(東京会場)

稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性

は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。この13年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

■「何でもQ&A」(大阪・東京会場)

稲葉 寛夫

正しいことをする時、時に、困難は許される。未熟な時にも、次のステージに行くために、愛のムチは許される。チャーチ&ホームスクーリングの本質、聖書に立ち返り、全力で神を愛そうとする時にも、困難は許される。その状況の中でも「だれが私たちに敵対できるでしょう」という圧倒的な勝利の道、全力で神を愛する道を選ぶことができる。悔い改めつつ。ノックダウンされても、ノックアウトされず。信じること、聖霊にゆだね、まっすぐに歩くこと、希望と勇気を失わず。そして、福音を伝えるという目的を目指して。神様に示される知恵、本質からぶれずに、全力で神を愛する！
何でも質問してOKの時間でもあります。

■井上 正人&知恵(東京会場)

米沢でホームスクーリング(21歳、19歳、16歳、15歳、5歳の5人)して11年。5年半前、「チャーチ&ホームスクーリングを考える会 in 米沢」を設立。

■「鳥の羽毛とすばらしい創造主のみわざ」(東京会場)

宇佐神 実

鳥の羽を手にとってもらいながら主のすばらしさを紹介します。人は、動物や植物の素晴らしい特徴に注目し、それを次々と科学技術に応用しています。それを思うと、自然とその動植物を造られた創造主は何と偉大なのだらうと思わされます。残念なことは、多くの人は、生き物や自然には感謝をしますが、創造主を知らず、創造主に感謝をしていないことです。テレビでも自然から学んでどのように科学技術に応用しているかを紹介する「生き物にサンキュー!!」という番組があり

ます。今は、被造物のすばらしさがテレビでも証しされている時代です。足りないのは創造主がおられるということです。私たちも学んで、創造主と福音を伝える絶好の機会にしませんか!?

■「創造を信じることの意義」(東京会場)

宇佐神 実

なぜ混乱が生じるのでしょうか。これは創造主を信じないことと大きく関係があると思います。特に現在は進化論が教えられ、多くの方が創造を受け入れにくくなっています。もし聖書と進化論を同時に信じようとするなら、聖書のさまざまな箇所が信じられなくなるという弊害がでてきます。事実、歴史の中で、進化論を受け入れた多くの方が教会を去りました。創造主は、天地を造られた全能のお方です。私たちには物質的な視点とは違う創造主の視点をもって生きることが大切です。この分科会では、これらの視点の違いを考えると共に、創造主が私たちを造りかえ、私たちに夢を与え、私たちがこの世に秩序をもたらす者として立てられていることを考えます。

■「我が家のホームスクール」(大阪会場)

浦上 豊秋&悦子

我が家のホームスクールは、長女が大学4年生、次女が大学1年生、長男が中学1年生となりました。これまでの主の導きと歩み、これからの歩みについて、お分かちしたいと思います。

■「UICSの11年」(東京会場)

大角 健一

2003年の開校から今年12年目を迎えたUICS(宇都宮インターナショナルクリスチャンスクール)はホームスクーリングマインドのチャーチスクールを標榜する生徒数17名の小さな学校です。ここに至るまでさまざまな課題に直面し涙しながらも、恵み深い主のあわれみによって生徒・保護者から40名ほどの受洗者が与えられ、最近では発達障害や学習障害のお子さんを多く受け入れています。また卒業生は幸せな結婚に導かれたり、社会人や大学生として立派に証を立てています。特に感謝なことはスタッフから牧師が生まれたり、卒

業生から神学生や宣教師志願者が与えられていることです。今回はそんな経緯をお話させていただけたらと思います。

■「子どもを悪から守り、聖書の目的に向かわせるために」(大阪・東京会場)

太田 仁一

エゼキエル20:7 わたしは彼らに言った。「おのおのその目に慕う忌まわしいものを投げ捨てよ。エジプトの偶像で身を汚すな。わたしがあなたがたの神、主である。」

私たちは、曲がった邪悪な世に身をおいていません。この世の誘惑は強く、また大きいのです。ホームスクール、チャーチスクールは、私たちが子どもたちをこの世の悪、サタンの攻撃から守るためにあるのです。子どもの教育の目標、目的をどこに設定するか、一緒に考えたいと思います。

■「子ども8人のホームスクーリング・マインド & ホームスクールで神さまから教えられていること」(東京会場)

倉臼 じゃな

結婚して22年、日本に住んでいます。神様から8人の子供を与えられました。上は21歳で、末が9歳です。主人のあんどりゅは宣教師の子供として東京で生まれ育ちましたが、教育は英語でしか受けませんでした。自分の子には日本語教育を受けさせたいと、中学卒業までは公立の学校に通わせることにしています。同時に家では、ホームスクールマインドで、英語の読み書きを教えつつ、人格を育てています。高校以上の年齢の4人のうち3人は、高校からは日本語または英語でホームスクールをすることを選びました。私自身は、「典型的」なホームスクーリングママには遠く及ばないと思いますが、今回は、クリスチャンの少ないこの国で神様に仕える子供を育て、神がそれぞれのユニークな性格に対して働きかけてくださることなど、今までの経験について分かち合いたいと思います。

■「ホームスクール継続の恵みと秘密」(大阪会場)

竿代 健

長男が小学生になるタイミングで次男とともに正式にスタートしたホームスクールは、感謝なことに4年目に突入しました。ホームスクールから与えられた恵みを振り返り、自ら発見したこと、他のホームスクーラーから学んだこと、ホームスクールの継続の秘密をお分かちします。元教員としてホームスクールの特性を生かした勉強、ホームスクールでの課題と克服のために苦しみながら取り組んでいることに触れたいと思います。

■「志賀ファミリー3年目突入～進化する悩み～
「これでいいの？」から「何とかしなきゃ！」へ」
(東京会場)

志賀 信泰&麗子

長男雄信(8歳)、長女実結(4歳)、次男恵信(1歳)の5人家族です。雄信が小学校に上がるタイミングでホームスクーリングを2年前に始めました。昨年度は、恵信の誕生、引っ越し、さらに恵信の一ヶ月間の入院によって、我が家はチャレンジを受けました。新年度は実結が年少に上がって、教えることが増えてきました。このような中であって、ホームスクーリングをしてきたことに対しては感謝の思いにあふれる一方、理想に遠く及ばない現実に呆然としています。

こんな私達のありのままを分かち合わせていただき、今後への知恵をいただければ幸いです。

■「ホームでスクーリングされていたのは、実は、私たちでした^^!」(東京会場)

高倉 正&幸子

二男三女、14歳から1歳までの子供たちの姿に、よくぞ14年間、HSが続けられたと驚く今日この頃です。まさに『今あるはただ神の恵み』と言うよりほかありません。人の目から見れば小さな、しかし、神様の目から見れば大きな、今日までの歩みでした。これからも、5人の子供たちの将来の進路、成長と発達に合った学びと活動、など、どのように展開されていくのか楽しみです。神様に引き続きパートナーとなって頂き、進んで行くつもりです。生まれたときからHSのみで成長した長女は現在中2です。小学校課程修了でひと山越え、その後引き続きドキドキハラハラしながら

の中学校課程も1年過ぎました。下に続いている姉弟たちの様子も含めて体験した恵みをお話します。

そのほか、HSで学ぶのは子供たちばかりと考えていましたが、実は、ホームでスクーリングされていたのは、私たち夫婦でもあったと気が付いたことなど、ざっくばらんにお話し出来ればと考えています。

■田村 正幸(東京会場)

伊勢崎キリスト福音館。伝道者養成の目的で、チャーチスクールを始めたのが11年前。卒業生は、保育士助手として働きつつ、トラクト配布や看板伝道に。5年前の4月から未信者向けインターナショナルスクールを開校。120名あまりに成長し、幼稚園に続き、小学校も開校。

■「ホームスクールとお金のはなし - 家計をしあわせにする3つのカギ」(東京会場)

辻 寿&奈央子

お金について、夫婦で楽しく夢がふくらむ会話ができたら、どんなに幸せだろうか…。とはいっても現実…。

数年前、私たち夫婦が経験した経済面の失敗から、一步一步立ち上がってきた道のりを分かち合い、3つのカギ『価値観の一致』『日々の管理』『将来の夢』について、楽しくお話しします。

■辻岡 健象&敏子(東京会場)

小さないのちを守る会。中絶問題を見つめ200人以上の養子縁組を進めてきた。

■「ホームスクーリングで大学進学は可能か」(東京会場)

豊田 肇&宏子

分科会では、我が家のホームスクーリングの現状を分かりやすく説明します。親に従うこと、福音を伝えること、主に信頼していくこと、進学して職業を持つこと、そのプロセスとしての受験勉強について、お話ししようと考えています。

我が家には現在4人の子供がいます。20歳の娘、12歳の息子、6歳の娘、3歳の娘で、一番上の娘

以外は、学校教育経験なしでホームスクーリングをしています。

一番上の娘は小学校4年の1学期まで、東京都練馬区の公立の小学校に通わせていました。現在は受験勉強中です。他の子どもたちは学校教育を経験していません。

そのような中で、ホームスクーリングで大学進学は可能なのか、また、その必要性について我が家としての見解をシェアしたいと思います。また、大学進学の可能性について、私が考えていることと、妻が考えていることの微妙な違いについて、ストレートにお話しします。

参加する方も、夫婦で話す中で、お互いの考え方の違いに気づき、更なる一致を持ってホームスクーリングする機会となることを期待しています。

分科会では意見交換もできるので、柔軟性を持って教育について考えていきたいと思います。また、参加者の方々と相互に連絡先の交換をして情報の共有ができるようにします。期待してご参加ください。

■ナタン・ブローマン（大阪・東京会場）

チルミニ・LITの責任を持って13年。日・英・中の3ヶ国語教育を実践し、伝道者育成をめざす啓明スクールOB、宮城・明泉学園副園長。

■ピーター・ブロックソム（大阪会場）

京都インターナショナルユニバーシティ。公立高校、私立高校、大学で教え、かつ長男を7年間ホームスクーリングで育てた。

■「クリスチャンの喜び」（大阪・東京会場）

ピリポ・ブローマン

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。」（マタイ5：3）

クリスチャンは何を喜びとして生活しているのでしょうか。私が若い時に喜びとしていたこと、そして、それまで喜びとしていたことから、心が変わったこと。それから、私が喜びとすることは変わっていません。今に至るまでの喜びの生活について、私の経験と聖書からお話しします。

■「人に福音を伝える時（話の内容と方法について）」（大阪・東京会場）

ピリポ・ブローマン

種をまく時、その種がからし種のような小さい種であっても、神様はそれを大きく成長させることができます。神の言葉も種と同じです。

話をする時の大事なポイントと、その話を裏付ける証拠についてお話しします。

■「キリストの再臨と世の終わりの前兆」（東京会場）

ピリポ・ブローマン

「まことに、神である主は、そのはかりごとを、ご自分のしもべ、預言者たちに示さないでは、何事もなさらない。」（アモス3：7）

今は、この世の終わりが近い時です。これから起こることを、クリスチャンは解ることができるのです。それらの出来事がどのようなことであるかを知って今の生活をしなければなりません。

■「ホームスクール、、、神様の守りがあります」（東京会場）

藤原 樹里

東京都国立市で、娘（17歳）息子（8歳）のホームスクールをしています。この11年間、神様が守ってくださいました。昨年受けた高校卒業認定のことも含めて、最近の課題など、お話しできればと思います。

■「堀井家 ホームスクール8年目、本当に大丈夫？」（大阪・東京会場）

堀井 卓&ユリ

今年、長男（18）が大学受験に挑戦、結果は…。次男（16）は、朝昼は高認勉強、夜は地元のフットサルチームで猛練習。長女（13）は、通信教育を辞め新たな勉強方法に挑戦中。三男（6）は、「こころを育てるために一聖書」、グレープシード、ポピー。そして四男（2）は、しつけ真っ最中。

「心を尽くして主に投げ頼め。自分の悟りにたよるな。」（箴言3：5）

毎日の生活の中で、御言葉に投げ頼み、主に祈

り信頼することを、まず私たち親が学ばされています。失敗ばかりの私たちですが主が助け導いてくださることを、ホームスクールを通して確信しています。

昨年から、日曜日も家庭礼拝に切り替えたことにより、近所の人たちとの交流の場も増えてきています。毎日のように近所の子どもたちが遊びに来るようになり、クリスマス会、焼き芋大会、バーベキューパーティーなど伝道の機会も与えられています。

近所に住む兄の洋二家でも昨年から開拓伝道が始まり、海外の宣教チームとの連携も始まっています。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ 16:15)

イエス様の弟子としてこの子たちが生涯、主に従い通うことができるように祈りつつホームスクールを続けています。分科会では、スライド、ビデオを交えながら、我が家のHSの実態を報告します。

■「チア・サポート・スクール(CSS)」(大阪・東京会場)

堀井 卓

2011年4月に開校しCSSも4年目になりました。世田谷での通学クラスから始まり、その後、ホームスクーラーの皆様からの様々なご意見、ご要望を受け、通信クラス、オンライン英語クラス、フットサルでの体力作りなどのサポートも始まりました。大学受験を目指す生徒には、宮崎先生個別のクラスも行っています。

◆通学クラス(世田谷):火・水・木 9:30~13:00。11:00から30分間は、礼拝(賛美、聖書、祈り、発表)。科目は英・数・国・理・社・ネイティブ英会話(希望科目選択)

◆通信クラス:電話 or スカイプによる学習相談、e-mail or FAXによる添削、カリキュラム作成等

◆オンライン英語クラス:Grape SEED ホームエディションを受講されている方のためのスカイプによるプライベート・オンライン英会話。講師は、ネイティブスピーカー。月一回からの確認クラス、月二回のサポート・コース、そして月4回のプレ

ミアム・コースがあります。(2014年6月より)

◆フットサル(新宿):月曜日 10:00~12:00。幼稚園から大学生までのフットサル・クラブです。幼稚園、小学生はコーチの指導があります。

◆親子で自習クラス:9:00~14:00(9月から府中で開講予定。)

その他、英語キャンプ、音楽教室、体育基礎教室など企画中です。分科会でも皆様からのご意見、ご要望をお伺いできればと思います。

■堀井 洋二(東京会場)

2011年4月から始まったチア・サポート・スクールのアドバイザー。子どもは2男2女の6人家族。中学卒業を機に始まった長女とのホームスクーリング。次女は中学生からスタート。東京都府中市在住。グレイス・ハウス牧師。

■「結婚10年目を迎えて」(大阪・東京会場)

マタイ・ブローマン

今年3月で結婚10年目を迎えました。上は小学4年生から下は2歳まで、6人の子どもたちを育てつつ、私は伝道者として全国を駆け回り、妻の愛子は妻と母親、そして、啓明小学校の教壇に立つ忙しい毎日です。子どもたちの成長やしつけなど、これまでを振り返り、様々な角度からお話ししたいと思います。皆さんからの自由なご質問、喜んで何でも応じようと思っています。

■「HS11年目、長男(16歳)はブチ社会人、四男(1歳)は宇宙人」(東京会場)

松岡 淳裕&みぎわ

家族も増え、何かと出費が多い今日このごろ。昨年まで、当たり前のように参加していたチアの主行事や関連行事。今後はどうなるのかと危機感を持った長男。それなら、参加費などの経費は自分で稼ごうと、昨年末からアルバイトを始めた。履歴書の志望動機には、「社会勉強、貯金、飲食店や接客業に興味があったから」と記していた。

ティーンエージャーの長男と次男、乳幼児の三男と四男。妻の絶妙(?)な取りまわしによって、毎日のHSが進められている。

「…、事は人間の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです。」(ローマ9:16)

「主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。」(箴言10:22)

この10年を振り返りつつ、この先の10年の展望などを分かち合えたらと思っています。

■「チャーチ&ホームスクールの心臓 祭司のつとめ」(大阪会場)

山川 高平&久子

クリスチャンとしての歩みにおいて、聖書からインスピレーションを受け、世の中、生活の中に「適応」させ発展させたミニストリーや教育というものがあります。しかしどんな教育方法も教会のミニストリー、伝道方法も、心臓部分があります。その心臓部分が鼓動をうっていなければ、働きや教育が一人歩きし、いつのまにか心臓部分より大切になってしまう事があります。その心臓部分、つまり主を慕い求め続けるというシンプルな礼拝生活、祭司のつとめを喜びつつ果たすことにフォーカスを当てることからチャーチ&ホームスクールの喜びを味わいたいと思います。

■山川 哲平&真紀子(大阪会場)

香川・長尾教会でホームスクーリングを中心としたチャーチスクール(Jミッションインターナショナルスクール)を展開。ハレルヤチャーチ高松牧師。ハレルヤミュージック代表。7人の子どもたちをチャーチ&ホームスクーリング。

■「弱点の多い家族の、ホームスクール」(大阪会場)

吉原 佳子

肉体的、精神的、経済的、その他に弱点が多い我が家。また近くにホームスクーラー仲間も居らず家族の奮闘で始まったHS。でも不思議な助けで、この環境も受け入れ、進み続け、更に神様への確信を強めて進撃中。同じく奮闘中の方々、一緒に励まし合いましょ。

■「幼児期で漢字1000字読める！&吉村家がHSを通して神さまに教えられていること」(東京会場)

場)

吉村 忠敏&則子

明泉幼稚園でカリキュラムを担当させていただいている幼児期の言葉の教育、特に漢字教育について報告します。幼稚園の3年間で、少なくとも1000字以上の漢字が読めるようになり、聖句暗記も漢字ででき、親も私たちも驚いています。また、童謡を生かした「ことば教育」も成果が出ているので、レポートします。

ホームスクーリング卒業生の次女(21歳)が3ヶ月間モンゴルで日本語教師体験しました。同じくHS卒の長女(22歳)は3週間インド、ネパールの伝道に参加し、今夏から約半年の滞在を計画しています。長男(25歳)の近況報告もあります。困難もありますが、それらを通して吉村家が神さまに教えられていることをお伝えします。その他、10家族も集まるようになった月一回仙台でのホームスクーラー会報告の後、なるべく多くの時間、皆様からの質問にお答えしたいと思います。

慶應義塾大学 赤林・大垣教授から 「世界観の経済行動への影響」研究に ご協力への感謝とお願いです

2011年より毎年白馬セミナーで、また昨年はチャ・コンベンションで同様の研究を実施し、多くの方にご参加いただき、心から感謝しています。次回はチャ・コンベンション2014の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方にはアンケートを実施し、親子でゲーム式実験に参加していただけます。協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。今回も、皆さんのご参加をお待ちしています。詳細はコンベンション参加者の方に郵送いたします。

Keio University



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室

メール: mogaki@econ.keio.ac.jp 電話: 03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授
大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

試写会受付中！

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」 「アメイジング・グレイス」の無料試写会 & DVD 販売会 (少人数OK) 主催されませんか！ 大好評受付中！

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チア・につぼんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハピネット社に申請する道が開かれています。まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、3作品からの大いなる福音伝道の業が、拡がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・につぼんまで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています！

聖書的・家族的作品、開催して良かった！という声が、多数寄せられています (下記 & チア WEB www.cheajapan.com をご覧ください！)

少人数でもOK、無料です。主催してみませんか。教会などの公の場で視聴することは、残念ながら、違法行為です。許可を得ての上映には、通常、数万円から十数万円以上のコストがかかります。でも、一人でも多くの方に見せたい聖書的な作品があります。正式に、しかもコストをかけずに上映の場を！ということで、与えられた方法が、「無料試写会 + DVD 販売会」という方法です。DVDの販売案内が映画配給会社と交わされた条件ですが、ノルマはありません。それで、下記の教会、クリスチャン団体で好評のうちに、展開が進んでいます。与えられた3作品は、どれも励まされ、福音の窓口となる優秀な作品です。このチャンス、逃すことなく、皆さんもトライされませんか？

<上映した教会よりアップデート No. 45 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会 「アメイジング・グレイス」>

・映画のチラシを最初に見た時から、これは見たい内容だと思いました。内容とキャストがピッタリで感動しました。もっとメジャーになってもいいかと思うのですが。(50代 男性)

・感動的でした。人間を平等に創られた神のみこころを遂行するために働いた方々の存在に、「主のみこころを行わなければ」との想いを、強く新たにさせられました。(60代 女性)

・とても良かったと思います。友人を教会に誘えたのも感謝でした。(60代 男性)

・大変良かったです。今の時代があるのは、先人の苦勞があったからだと感じております。(女性)

・久しぶりに良い映画を見させていただきました。心が映画の中に入り込み、考えさせられることがたくさんありました。ありがとうございました。1つのことをやり遂げること、素晴らしいと思います。

・とても良かったと思います。誰もが見ることのできるクリーンな感じでありつつ、十分に考え、自分や社会、歴史に向き合うことができることが、本当に良かったです。(30代 男性)

・「アメイジング・グレイス」の賛美歌は大好きで、試写会に来させていただきました。賛美の深い意味、思いを少しですが、教えられました。(70代 女性)

・とても良かったです。一青年政治家が、志を捨てず、あきらめず、政治と主の道を貫き通した姿に感動しました。(40代 女性)

試写会 「ファイアー」「フェイスング」「アメイジング」「ソウル」

感動の声、続々！開催してみませんか？

(無料！少人数OK！)お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

■ 5月16日(金)

沖縄 コザバプテスト教会

TEL 098 - 937 - 5036

■ 8月30日(土)

東京 太平洋放送協会 TEL 03-3295-4922

「ファイアー・ストーム」

■ 5月31日(土)

東京 太平洋放送協会 TEL 03-3295-4922

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 山形 シオンキリスト教会
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 長野 中野キリスト教会
- 北海道 キリスト兄弟団 美幌教会
- 奈良 奈良西和教会
- 神奈川 主都福音キリスト教会
- 千葉 小倉台キリスト教会
- 長野 飯田馬場町教会東中央グレースチャペル
- 青森 あすなる福音キリスト教会
- 東京 南大沢チャペル
- 沖縄 コザバプテスト教会
- 山口 下関キリスト聖書教会
- 兵庫 赤穂福音ルーテル教会
- 千葉 稲毛聖書バプテスト教会
- 北海道 キリストめぐみ函館教会
- 北海道 帯広栄光キリスト教会 音更伝道
- 宮城 南仙台キリスト教会 ほか

計 114 箇所

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 大阪 JEC ヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG 志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 埼玉 東京バプテスト教会 三郷キャンパス
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 山形 米沢興譲教会
- 奈良 奈良西和教会

- 青森 あすなる福音キリスト教会
 - 京都 宇治福音自由教会 ほか
- 計 18 箇所

「アメイジング・グレイス」

- 京都 宇治バプテストキリスト教会
- 埼玉 KFG 志木キリスト教会
- 大阪 大阪みぎわチャペル
- 東京 弥生台キリスト教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 兵庫 白い風
- 埼玉 越谷キリストチャペル
- 福岡 久留米聖書教会
- 青森 あすなる福音キリスト教会
- 山口 長府クリスチャンセンター
- 山口 下関キリスト聖書教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 奈良 奈良西和教会
- 群馬 桐生キリスト教会
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会 ほか

計 38 箇所

「ソウル・サーファー」

- 京都 宇治福音自由教会
- 千葉 グレイス クリスチャン アカデミー
- 長野 中野キリスト教会
- 奈良 奈良西和教会
- 北海道 神居キリスト教会
- 千葉 うすいキリスト教会 ほか

計 36 箇所



第1回 チア・ジョイランニング アンケート



●良い運動の機会となりましたし、真鍋さんの指導も楽しくでき、正しい走り方などを身につけることができました。

特に良かった点は、5キロの長距離走を取り入れて下さり、こんなに長い距離を走ることなんてないので、良い機会となりました。僕は、渋滞で遅れて当日は走れませんでした。家の近所で5キロを走って練習していたのでとても良かったです。また、このようなランニング大会を開催してくれたら嬉しいです。(中村義也 13歳)

●悪天候の中でしたが、プログラムのすべてが実施され、とても良かったと思います。悪天候でも、子どもたちの健康を配慮しつつも、予定通り実施することは、大変重要なことです。チア・スタッフ(実行委員)の方々の方針と伺いましたが、予定通り実施したことは大変良い判断でした。素晴らしい企画、ありがとうございました。

真鍋未央さんを講師としてお招きできたことも、大変良かったです。企画と講師がとてもマッチし、内容も素晴らしかったです。参加者の方々の笑顔と親しさ、児童・生徒の礼儀良さ、講師も称賛していましたが、私も同感でした。自己紹介、家族紹介も良かったです。(千葉 富所正史)



1500m総合2位の中村義也君
(チア・サポートスクール)



姉妹で5キロ完走!
鄭祈燃(チヨン・キヨン)ちゃん
(10)と、鄭諤翰(チヨン・ヨハン)ちゃん(7)



藤井一朗実行委員長のマット&跳び箱も大人気!

●とても楽しかったです。体を動かすことは楽しいですね。私は走らなかったのですが、ストレッチして笑うだけでも、すごく体に良かったです。それから、走る皆さんを応援するだけで、すごく楽しかったし、感動がありました。

走らない人のためにもストレッチ講座があったり、子どもたちのためにゲームや飛び箱、マット運動があったことがすごく良かったです。真鍋先生、藤井先生、ありがとうございました。(東京 藤原樹里)

●ジョイランニングの未央コーチ、素敵なお方でしたね! 教え方もとっても上手で屈伸一つでも足の向きが大切なこともわかりすごくよかったです! 「皆さん家族みたいで…」とおっしゃってくださったのが嬉しかったです!

また、普段できない跳び箱やマット運動も藤井さんに教えて頂いたし、最後の表彰式では子ども達もメダルに大喜びでした! 感謝します! (神奈川 梶山志津)



今井洋君と松岡恵悟君のフオーム、未央コーチに褒められた!

♪ ボイス&メール ♪

Voice & Mail

本日「聖書がわかる 28 の素敵なお話」50冊確かに受け取りました。素晴らしい内容に驚き、感謝しています。祈りつつ用いさせていただきます。

世と聖別しながら、世に送り出していく神の子どもたちを育てるお働きの重大さとすばらしさを感じます。「…子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」マルコ 10 : 15

子どもたちとともに、神の国を進んでいかれる「チア・にっぽん」のお働きの拡大をお祈りしています。(Aさん)

いつもタイミングよく送られてきて、みことばを待ち望みつつ開く時、それを感謝して受け取り、どんなにか励まされていることか……。主の御名をあがめ、お働きに感謝しています。

(Bさん)

チア・にっぽんのマガジンやニュースレターに、いつも信仰の励ましをいただき、感謝です。増山ご夫妻、柿本ご夫妻の記事感謝。主の大きなご計画が前進し、実りますようにお祈りいたします。

(Cさん)

「聖書がわかる 28 の素敵なお話」ありがとうございました。キッズチャペルの子どもたちと、教会の新来会者用のプレゼントに用いています。

(Dさん)

ドイツで、ホームスクーリングへの迫害があるとは知りませんでした。皆様のお働きの上に、主の豊かな祝福がありますように。(Eさん)

スタッフの皆さんに読んでほしいな、と思っていた息子の文章を送ります。チアとの出会いがなければ、こんな考えができる子に成長していたかな？と思います。本当に感謝です！以下、息子がホームスクーラーの男の子と将来について話し合っている中で考えた文章です。(Fさん)

勉強をすること、大学に入ること、仕事をしてお金を貯めること、生活すること、家族を養うことよりも一番優先しなくちゃいけないのは、神様。そして福音を宣べ伝えること。福音を宣べ伝えることがクリスチャンの使命であり第一に優先されるべきことだと思う。

勉強は主の栄光をあらわし、福音を伝えるためにする。今している勉強はもしかしたら将来用いられるかもしれないし、無駄にはならないと思う。だから今与えられてる課題を勤勉に行うことは大事だと思う。

大学に目的があって入るのはいいと思う。でも、目的がないのに大学に行くのはすごい危険なことだと思う。大学に入って遊びほうけて信仰を失うクリスチャンはたくさんいる、それに時間の無駄だと思う。

仕事をしてお金を稼いで家族を養えるようになってから、伝道しようでは順番が違ふと思う。神様を第一にして生きていくとき、神様はすべての必要を満たしてください。

この世ではクリスチャンはただの寄留者であって、この世の楽しみ、お金、地位、名誉などはなくなってしまう。でも神様のためにしたことだけが残る!! だったら、人が自分たちのことをバカだと思っても、どんなに貧乏でも、たとえ神様のために早く死んでしまったとしても、神様のために人生捧げるのがいいと思う。

でもやっぱり家族も養わなくてはいけないから、お金の稼ぎ方も勉強しなくちゃいけないと思う。だから、俺はお父さんからいろいろ学ぼうかなーとか思ってるけど、まだ祈り途中…。

一人一人神様から与えられてる召しは違うと思うから、何を通して神様のことを伝えていけばいいのか祈り、日々のデボーションをしっかりとっていくことが大事だと思う。

チア・にっぽん カレンダー

●チア・コンベンション 2014

主講師 ジム&カレン・ストーバー博士夫妻
ジョイス・イノウエさん

大阪：5月30日（金）-31日（土）

◆大阪府羽衣青少年センター（大阪・高石市）

東京：6月6日（金）-7日（土）

◆国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京・代々木）

●チア・サマーキャンプ 2014

8月14日（木）～16日（土）

※LITメンバーは11日（月）～16日（土）

◆仙台・明泉学園

●白馬セミナー 2014

11月20日（木）-22日（土）

◆ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

12月会計	
収入	
献金	1,189,750
書籍・教科書	72,028
会費	44,000
広告	120,000
DVD/CD、ビデオ等	64,744
その他	17,735
	1,508,257
支出	
事務局経費	1,009,661
通信運搬費	88,128
交通費	69,700
印刷費	311,104
DVD仕入費	7,437
出版プロジェクト	9,408
	1,495,438
残高	12,819
前期繰越	138,610
翌期繰越	151,429

☆尊い献金、会費の送金を、心から感謝いたします。

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
定価：本体 2,000円＋税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



2014年4月7日発売

<本の内容>

- 序文 発達障害や精神障害の治療を願って
- I. 発達障害から良くなった子供たち
 - II. どのように治療をするのか
 - A. 治療の枠組みと方法
 - B. 発達障害についての私たちの立場
 - C. 発達障害の治療への取り組み
 - D. 治療方法の説明
 - III. 治療に必要な知識や理論
 - A. 身体の形成と栄養の補給
 - B. 障害への対応の基礎知識
 - IV. 統計、よくある質問、索引
 - A. 発達障害検査統計
 - B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ

Tel: 043-207-6035 Fax: 043-207-6036

メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

パイオニア ランゲッジ スクール主催
アメリカ ホームステイ
プログラム 2014

期間：7月21日（月）～8月12日（火）

費用：498,000円（税別）

対象：10才～18才（出発時）

参加人数：10名（催行人数は5名以上）

詳細は、パイオニア・ランゲッジ・スクール（TEL:045-949-0857。担当：広山さん）、または、チアHPへ（チラシをupしています）。



CheaJapan

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

www.cheajapan.com

『聖書がわかる 28 の素敵なお話』 無料プレゼント！

1 家族・教会 各 50 冊まで無料です！（郵送手数料はご負担ください）
数に限りありますのでお早めに！

大好評、6 回目の追加入荷できました！ 今回から、2 巡目のお申し込み OK となりました。既に 1 回、ご利用された皆さんも、2 巡目、お申し込みください！

アメリカの TGS インターナショナルの皆さんからの支援で、『聖書がわかる 28 の素敵なお話』が日本聖書配布協力会より刊行され、チア・にっぽんメンバーの皆さんにも、無料でプレゼントされることになりました。聖書そのものともいえる、とても素晴らしい作品です。今回、1 家族・1 教会／団体、50 冊まで、無料で送らせていただきます（送料＆手数料 800 円のご負担をお願いします。数に限りがありますので、お早めに！）

TGS インターナショナルの皆さんは、東日本大震災の支援で、日本聖書配布協力会の皆さんの支援活動に共鳴し、義捐金をサポートしつつ、支援活動を送っていました。その後、日本での伝道展開への一助として、コンサイスバイブルの印刷・無料配布等の支援を行い、さらに、『聖書がわかる 28 の素敵なお話』の印刷・無料プレゼントへと支援の輪が広がっていきました。

このプロジェクトには、チア・にっぽんにも声かけられ、翻訳、編集・校正の依頼をいただきました。実際に作品を読んでみると、聖書そのものという感じで、伝道のためにも、あるいは、お子さんたちと一緒に読んでいくためにもとても良き本であると思い、引き受けさせていただきました。

翻訳は、『ナザレのイエスは神の子か』（リー・ストローベル）シリーズ等で素晴らしい訳をされている峰岸麻子さんが主に担当してくれました。私たちも編集させていただきながら、本書の聖書のみことばやストーリーに何度も励まされました。

対象年齢は、小学校中・高学年から中学生としていますが、それより低年齢の子どもたちでも十分、対応できるようにフリガナもあり、また、大人でも、深く心に染み入り、励まされる作品です。伝道用や、信仰の成長のためにも最適です。

この機会をぜひご利用くださったらと、心から推薦させていただきます。TGS インターナショナル、そして、日本聖書配布協力会の皆さんに心から感謝しつつ、日本での聖書に立った霊的なムーブメントが一層、祝福されていきますように、心から祈ります。

『聖書がわかる 28 の素敵なお話』を通しての皆さんへの祝福を心から祈っています。

チア・にっぽん 稲葉 寛夫



《 オーダーシート 》

→ FAX 03-6862-8648

→ メール office@cheajapan.com

■ 希望冊数（上限 50 冊まで）（ ）冊

■ お名前（ ）

■ ご住所（〒 ）

■ TEL（ ）